

3 施策・基本事項評価結果

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 01 子育て環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
子ども、子どもの保護者	安心して子どもを産み育てられます。

施策の成果状況と評価

指標①	この地域で子育てをしたいと思う3歳児以下の子どもを持つ保護者の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【こども課】	%	96.5	96.7	96.9	97.0
評価	(状況) この地域で子育てをしたいと思う3歳児以下の子どもを持つ保護者の割合は96.9%で、総合計画基準値 (H28) と比較し0.4ポイント増加し、ほぼ横ばいとなっています。厚生労働省が公表している「健やか親子21 (第2次)」の最終評価目標値である95.0%を上回っています。 (原因) 乳幼児期の子育て環境について、母子保健事業や子育て支援事業の実施により、保護者がほぼ満足しているためと考えられます。	 (高)					目標達成度
							 (高)
指標②	この地域で子育てをしたいと思う4歳から15歳までの子どもを持つ保護者の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【こども課】	%	86.7	-	86.9	→	 (横ばい)
評価	(状況) この地域で子育てをしたいと思う4歳から15歳までの子どもを持つ保護者の割合は86.9%で、総合計画基準値 (H28) と比較し0.2ポイント増加しましたが、ほぼ横ばいの状況です。 (原因) 各種子育て事業や母子保健事業を実施し、成果指標が向上している事業も多数あることから、割合がわずかながらも増加しているものと考えられます。また、保育所や児童クラブで待機児童が発生するなど課題もあります。	 (低)					目標達成度
							 (低)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 幼児教育・保育の充実
基本事項 02 放課後の居場所づくり
基本事項 03 多様な子育てニーズへの対応
基本事項 04 妊産婦と子どもの健康管理
基本事項 05 家族形成の支援

基本事項01 幼児教育・保育の充実

指標①	待機児童数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【こども課】	人	3	11	20	0	(低下)
評価	<p>(状況) 平成30年10月1日時点の待機児童数は20人で、総合計画基準値 (H28) と比較し17人増加しています。内訳は、すべて保育所とこども園であり、幼稚園では発生していません。なお、年度当初の待機児童数は平成29年度は23人、平成30年度は11人となっています。</p> <p>(原因) 子どもの数は減少していますが、核家族化の進行や保護者の就労形態の多様化に伴い、保育所やこども園に子どもを預けたい世帯が増加しているためです。また、保育士不足が深刻化しており、ニーズに見合った人員を確保できていないためです。</p>					目標達成度	
		<p>■ (低)</p>					

基本事項01 幼児教育・保育の充実

指標②	集団生活をしている3～5歳児の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【こども課】	%	93.8	94.4	95.0	95.0	(向上)
評価	<p>(状況) 保育所やこども園、幼稚園で集団生活をしている3～5歳児の割合は95.0%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.2ポイント増加し、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 核家族化の進行や保護者の就労形態の多様化に伴い、0～2歳児から保育所やこども園に子どもを預けたい世帯が増加し、3～5歳児においても継続して預けている世帯が増加したためです。</p>					目標達成度	
		<p>■ (達成)</p>					

基本事項01 幼児教育・保育の充実

指標③	特別保育年間延べ利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【こども課】	人	68,819	64,126	59,427	70,000	(低下)
評価	<p>(状況) 特別保育年間延べ利用者数は59,427人で、総合計画基準値 (H28) と比較し9,392人減少しています。</p> <p>(原因) 核家族化の進行や保護者の就労形態の多様化に伴い、保育所や認定こども園の2号認定 (保育所型) に低年齢の子どもを預けたい世帯が増加し、延長保育利用者数が微増となる一方、幼稚園及び認定こども園の1号認定 (幼稚園型) の児童が減少し、預かり保育利用者数が減少したことなどによるものと考えられます。また、10月から国が実施する幼児教育・保育の無償化に伴い、この傾向がより強まることが見込まれます。</p>					目標達成度	
		<p>■ (低)</p>					

基本事項02 放課後の居場所づくり

指標①	放課後児童クラブの待機児童数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【こども課】	人	14	8	3	0	(向上)
評価	<p>(状況) 平成30年度末時点での放課後児童クラブの待機児童数は3人で、総合計画基準値 (H28) と比較し11人減少しています。</p> <p>(原因) 児童数が多い西袋地区に、平成29年4月、第三西袋児童クラブ館を開館したことにより、利用定員が90人増えたためです。</p>					目標達成度	
		<p>■ (高)</p>					

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	幼児教育・保育の充実
基本事項 02	放課後の居場所づくり
基本事項 03	多様な子育てニーズへの対応
基本事項 04	妊産婦と子どもの健康管理
基本事項 05	家族形成の支援

基本事項02 放課後の居場所づくり

指標②	放課後児童クラブ又は放課後子ども教室を利用している児童の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【こども課】	%	33.4	36.8	39.7	40.0	☀ (向上)
評価	(状況) 放課後児童クラブ又は放課後子ども教室を利用している児童の割合は39.7%で、総合計画基準値 (H28) と比較し6.3ポイント増加しています。 (原因) 平成30年度の児童数は4,126人であり、平成28年度に比べ223人減少する一方、核家族化の進行等に伴う保護者のニーズの高まりにより、放課後児童クラブ又は放課後子ども教室を利用する児童数は1,637人となり、平成28年度に比べ185人増加しているためです。						☀ (向上)
							■ (高)

基本事項03 多様な子育てニーズへの対応

指標①	子育ての相談をする相手がいない保護者の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【こども課】	%	11.4	-	11.2	→	☁ (横ばい)
評価	(状況) 子育ての相談をする相手がいない保護者の割合は11.2%と総合計画基準値 (H28) と比較し0.2ポイント減少し、ほぼ横ばいとなっています。 (原因) 子育て世帯の孤立化が進む中、家庭訪問型子育て支援委託事業や子育てサークル育成支援事業などの事業を実施しており、利用者も一定程度いますが、さらに相談しやすい環境づくりの取組が求められていると考えられます。						☁ (横ばい)
							■ (低)

基本事項03 多様な子育てニーズへの対応

指標②	子育て支援事業を利用した保護者の数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【こども課】	人	28,957	24,768	31,358	32,000	☀ (向上)
評価	(状況) 子育て支援事業を利用した保護者の数は31,358人で、総合計画基準値 (H28) と比較し2,401人増加しています。 (原因) 子育て支援センターを利用した保護者の数が1,775人減少したものの、平成30年12月に閉館した「キッズパーク」及び平成31年1月に開館した「わいわいパーク」を利用した保護者の数が4,382人増加したためです。						☀ (向上)
							■ (高)

基本事項04 妊産婦と子どもの健康管理

指標①	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【健康づくり課】	%	90.1	88.8	87.8	91.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合は87.8%で、総合計画基準値 (H28) と比較し2.3ポイント減少していますが、約9割でほぼ横ばいです。 (原因) 妊娠・出産・子育てにおける母親の不安を解消するために妊娠期から家庭訪問・健康相談・健康教育を実施していることから育児不安が解消され、安心して子育てができる環境になっているためと考えられます。						☁ (横ばい)
							■ (低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	幼児教育・保育の充実
基本事項 02	放課後の居場所づくり
基本事項 03	多様な子育てニーズへの対応
基本事項 04	妊産婦と子どもの健康管理
基本事項 05	家族形成の支援

基本事項04 妊産婦と子どもの健康管理

指標②	乳幼児健康診査における問診項目（10項目）が全国の直近の平均値を上回る項目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【健康づくり課】	項目	7	7	7	10	
評価	基準値は、2015（H27）に取得した数値です。 （状況）乳幼児健康診査の問診項目（10項目）が全国の直近の平均値を上回る項目数は7項目で、総合計画基準値（H27）と同数で横ばいの状況となっています。 （原因）乳幼児健康診査の受診率は98.6%と高く、それぞれの健診において教育や相談を実施し、必要な情報の提供や保護者の不安解消のため個々に合わせた支援ができているためと考えられます。						(横ばい)
							目標達成度 (低)

基本事項05 家族形成の支援

指標①	婚姻数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画財政課】	件	314	325	336	→	
評価	（状況）婚姻数は336件で、総合計画基準値（H28）と比較し22件の増加となり、順調です。 （原因）人口減少社会において、婚姻数は人口の動向に影響を与える重要な要素ですが、全国的に進んでいる未婚化、晩婚化を解消するために、市でも結婚新生活の支援や若者の交流促進事業といった新たな取組を行ったことなどが要因として考えられます。						(向上)
							目標達成度 (達成)

基本事項05 家族形成の支援

指標②	初めて子どもを授かった母親の人数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【健康づくり課】	人	216	268	241	→	
評価	（状況）初めて子どもを授かった母親の人数は、241人で総合計画基準値（H28）と比較し25人の増加となり、順調です。 （原因）安心して妊娠・出産・子育てができるように保健師・管理栄養士等の専門職が相談に応じ切れ目なく支援を提供しています。また、特定不妊治療の一部助成を実施していることも増加に寄与していると考えられます。						(向上)
							目標達成度 (達成)

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 02 学校教育の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
児童・生徒、市民	変化の大きい社会に的確に対応できる「生きぬく力」が備わっています。

施策の成果状況と評価

指標①	市総合学力調査において正答率が全国平均を上回っている科目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【学校教育課】	科目(%)	9/14(64.3)	9/14(64.3)	6/14(42.9)	14/18(77.8)
評価	<p>(状況) 市総合学力調査において正答率が全国平均を上回っている科目数は6科目で、総合計画基準値 (H28) と比較し3科目減少しています。全国平均値を3ポイント以上下回っているのは中学2年英語の1科目、3ポイント以上上回ったのは中学3年数学の1科目で、他の12科目についてはほぼ全国平均並みとなっています。また、平均正答率は68.9%となっており、平成28年度より向上しています。</p> <p>(原因) 多くの科目で、「基礎」は上回っていますが「活用」は下回っていることから、各学校において、基礎学力の向上への取組が進んでいる一方、活用のための思考力や判断力を伸ばす取組が不十分であると考えられます。</p>	グラフ表示はありません					目標達成度 ■■ (低)

指標②	児童・生徒に道徳性が身に付いていると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【学校教育課】	%	23.6	-	21.5	➔
評価	<p>(状況) 児童・生徒に道徳性が身に付いていると思う市民の割合は21.5%で、総合計画基準値 (H28) と比較し2.1ポイント減少しています。項目別では、「友達と仲良くすること」、「礼儀正しさ」が3割を超えている反面、「ボランティア活動への意識」が課題となっています。</p> <p>(原因) 各学校ではボランティア活動に取り組んでいますが、地域住民など、学校の外部からは活動状況が見えにくいことが原因と考えられます。</p>						目標達成度 ■■ (低)

指標③	全国体力・運動能力調査において全国平均を上回っている種目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【学校教育課】	種目	16	12	12	18
評価	<p>(状況) 全国体力・運動能力調査において全国平均を上回っている種目数は34種目中12種目で、総合計画基準値 (H28) と比較し4種目減少しています。小学校5年女子では、8種目中5種目で、握力では小・中学生男女ともに全国平均を上回っています。</p> <p>(原因) 中学生の運動離れが進んでいることが原因と考えられます。なお、中学生に比べ、小学生で全国平均を上回っている種目が多いのは、各小学校で取り組んでいる「運動身体づくりプログラム」や「ふくしまっ子児童期運動指針」の取組の成果が表れているためと考えられます。</p>						目標達成度 ■■ (低)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 確かな学力の育成
- 基本事項 02 心の教育の推進
- 基本事項 03 健康増進と体力向上の推進
- 基本事項 04 開かれた学校づくりの推進
- 基本事項 05 特別支援教育の充実
- 基本事項 06 教育環境の計画的整備の推進

基本事項01 確かな学力の育成

指標 ①	国語と算数（数学）が好きな児童・生徒の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【学校教育課】	%	64.5	68.2	61.0	67.5	(横ばい)
評 価	<p>(状況) 国語と算数（数学）が好きな児童・生徒の割合は61.0%で、総合計画基準値（H28）と比較し3.5ポイント減少しています。国語についての設問がありませんでしたが、小学校算数で70.8%、中学校数学で51.1%が好きと答えています。</p> <p>(原因) 小・中学生ともに、「算数（数学）の授業がわかりやすい」と答えている割合は県・全国平均を上回っていますが、中学校数学で学習内容の難しさから関心を低下させる生徒が増えていると考えられます。</p>	(%)					(横ばい)
							目標 達成度
							(低)

基本事項01 確かな学力の育成

指標 ②	小6における国語・算数の正答率が全国平均を上回っている科目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【学校教育課】	科目	0	0	0	2	(横ばい)
評 価	<p>(状況) 小6における国語・算数の正答率が全国平均を上回っている科目数は0科目で、総合計画基準値（H28）と比較し同数で横ばいです。国語が74.8%（全国平均比-0.1ポイント）、算数が70.0%（全国平均比-0.2ポイント）となっており、ともに全国平均をやや下回っています。</p> <p>(原因) 国語、数学ともに「基礎」は上回っていますが、「活用」は下回っていることから、各学校において、基礎学力の向上への取組が進められている一方、活用のための思考力を伸ばすような取組が不十分であると考えられます。</p>	(科目)					(横ばい)
							目標 達成度
							(低)

基本事項01 確かな学力の育成

指標 ③	中3における国語・数学・英語の正答率が全国平均を上回っている科目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【学校教育課】	科目	2	2	2	3	(横ばい)
評 価	<p>(状況) 中3における国語・数学・英語の正答率が全国平均を上回っている科目数は2科目で、総合計画基準値（H28）と比較し同数で横ばいです。国語が73.2%（全国平均比+2.3ポイント）、数学が62.7%（全国平均比+3.0ポイント）、英語が61.7%（全国平均比-0.3ポイント）となっており、国語・数学が全国平均を上回っています。</p> <p>(原因) 英語の「活用」以外はすべて全国平均を上回っていることから、各学校において、基礎学力の向上への取組とともに、活用のための思考力を伸ばすような取組が積み重ねられていると考えられます。</p>	(科目)					(横ばい)
							目標 達成度
							(低)

基本事項01 確かな学力の育成

指標 ④	前年度と比べ授業改善効果が見られた科目数（小5以上の国・算（数）・中2以上の英語11科目中）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【学校教育課】	科目	7	7	7	7	(横ばい)
評 価	<p>(状況) 前年度と比べ授業改善効果が見られた科目数は7科目で、総合計画基準値（H28）と比較し同数であり、横ばいです。</p> <p>(原因) 教育研修センター講座や学校訪問、各学校における授業研究会等の取組が積み重ねられていると考えられます。</p>	(科目)					(横ばい)
							目標 達成度
							(達成)

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 確かな学力の育成
- 基本事項 02 心の教育の推進
- 基本事項 03 健康増進と体力向上の推進
- 基本事項 04 開かれた学校づくりの推進
- 基本事項 05 特別支援教育の充実
- 基本事項 06 教育環境の計画的整備の推進

基本事項02 心の教育の推進

指標 ①	1,000人当たりの不登校児童・生徒数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【学校教育課】	人	8.6	9.8	13.0	8.1	☔ (低下)
評 価	<p>(状況) 1,000人当たりの不登校児童・生徒数は13.0人で、総合計画基準値(H28)と比較し4.4人増加しており、順調ではありません。また、不登校児童・生徒数は83人(小学校12人、中学校71人)で、平成28年度と比較し増加しています。</p> <p>(原因) 不登校のきっかけの多くは、学校生活にあると考えられますが、その要因、背景が複雑化し、学校が個々の児童・生徒の要因を的確に把握し、解消することが難しくなってきたことが原因と考えられます。</p>	(人)					☔ (低下)
							目 標 達成度
							■■■ (低)

基本事項02 心の教育の推進

指標 ②	不登校児童・生徒学校復帰率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【学校教育課】	%	20.7	23.4	12.0	30.0	☔ (低下)
評 価	<p>(状況) 不登校児童・生徒学校復帰率は12.0%で、総合計画基準値(H28)と比較し8.7ポイント減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 学校での対応に加えて、「心の教室相談員(7名)」「スクールソーシャルワーカー(2名)」「緊急時スクールカウンセラー(1名)」を配置し、児童・生徒及びその保護者の話を聞く機会を設けていますが、背景が複雑化し、短期間での復帰が難しくなっていると考えられます。</p>	(%)					☔ (低下)
							目 標 達成度
							■■■ (低)

基本事項02 心の教育の推進

指標 ③	児童・生徒が自らに道徳性が身に付いていると思う項目数(10項目中)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【学校教育課】	項目	5	5	8	7	☀ (向上)
評 価	<p>(状況) 児童・生徒が自らに道徳性が身に付いていると思う項目数(10項目中)は、小学校では3項目、中学校では5項目、計8項目で、総合計画基準値(H28)と比較し3項目増加し、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 学校教育の重点目標に、自尊意識を高めることを掲げ、小中一貫教育の中でも小中教員が同一歩調で心の教育を進めていることから、道徳性が高まってきていると考えられます。</p>	(項目)					☀ (向上)
							目 標 達成度
							👑 (達成)

基本事項03 健康増進と体力向上の推進

指標 ①	肥満児童・生徒の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【学校教育課】	%	14.0	11.1	13.0	12.0	☀ (向上)
評 価	<p>(状況) 肥満児童・生徒の割合は13.0%で、総合計画基準値(H28)と比較し1.0ポイント減少しました。小学校5年男子の肥満児童割合が15.0%と最も高く、中学校より小学校で肥満割合が高い傾向にあります。</p> <p>(原因) 食育、保健、運動を関連させ、継続的に健康指導を行ってきた成果が少しずつ出ています。特に、各学校から保護者へ、健康指導が必要である該当児童・生徒の医療機関への受診を勧めていることの効果は大きいと考えられます。</p>	(%)					☀ (向上)
							目 標 達成度
							■■■ (中)

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 確かな学力の育成
- 基本事項 02 心の教育の推進
- 基本事項 03 健康増進と体力向上の推進
- 基本事項 04 開かれた学校づくりの推進
- 基本事項 05 特別支援教育の充実
- 基本事項 06 教育環境の計画的整備の推進

基本事項03 健康増進と体力向上の推進

指標②	運動が好きな児童・生徒の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	55.2	58.5	56.8	62.0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 運動が好きな児童・生徒の割合は56.8%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.6ポイント増加しています。特に小学校5年男子が74.2%と高く、中学校2年女子が40.9%と低い状況です。</p> <p>(原因) 運動に対する二極化が進んでいると考えられます。各学校の体育科・保健体育科の授業では、運動の場の設定や段階的な指導等、個に応じた指導の工夫により、運動の楽しさを感じさせる実践に取り組んでいます。</p>						目標達成度
		■ ■ ■ (低)					

基本事項03 健康増進と体力向上の推進

指標③	運動能力の向上を要する児童・生徒の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	22.6	23.5	26.3	22.0	☔️ (低下)
評価	<p>(状況) 運動能力の向上を要する児童・生徒の割合は26.3%で、総合計画基準値 (H28) と比較し3.7ポイント増加しています。また、全国平均との比較では、中学校2年生男女ともに高くなっています。</p> <p>(原因) 運動が好きな児童・生徒の数はやや増加していますが、それが体力向上に結び付いていないと考えられます。各学校で体力テストのデータを分析し、弱点となっている体力要素を中心に補強していく必要があります。</p>						目標達成度
		■ ■ ■ (低)					

基本事項03 健康増進と体力向上の推進

指標④	歯科健康診断で虫歯があると診断された児童・生徒の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	56.9	52.7	52.5	54.0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 歯科健康診断で虫歯があると診断された児童・生徒の割合は52.5%で、総合計画基準値 (H28) と比較し4.4ポイント減少し、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 各小中学校における歯科指導の効果が出ているためと考えられます。また、平成29年度より開始した小学校におけるフッ化物洗口の虫歯予防効果が数字に表れるまでには数年かかるため、フッ化物洗口については継続する必要があります。</p>						目標達成度
		👑 (達成)					

基本事項04 開かれた学校づくりの推進

指標①	学校の行事等に参加・協力している市民の割合 (中学生以下の子どもを持つ保護者は除く)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	13.6	14.9	12.2	➡️	☔️ (低下)
評価	<p>(状況) 学校の行事等に参加・協力している市民の割合は12.2%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.4ポイント減少しています。</p> <p>(原因) 各学校は、合同学校評議員会等で地域との連携を図っていますが、学校の行事に参加・協力する市民の増加には繋がっていませんと考えられます。学校行事の在り方を見直し、地域住民の参画を広く求めていく必要があります。</p>						目標達成度
		■ ■ ■ (低)					

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 確かな学力の育成
基本事項 02 心の教育の推進
基本事項 03 健康増進と体力向上の推進
基本事項 04 開かれた学校づくりの推進
基本事項 05 特別支援教育の充実
基本事項 06 教育環境の計画的整備の推進

基本事項04 開かれた学校づくりの推進

指標②	学校評議員による学校評価の平均点数(5点満点)	単位	基準値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	点	4.4	4.3	4.3	4.5	(横ばい)
評価	(状況) 学校評議員による学校評価の平均点数は4.3点で、総合計画基準値(H28)と比較しほぼ横ばいです。8つの評価項目の中では「地域とともにある学校」が4.6点、「特別支援教育の充実」が4.4点と高い評価でした。また、「小中一貫教育須賀川モデルの推進」が4.4点で平成29年度と比較すると0.3点向上しました。 (原因) 5年目を迎えた小中一貫須賀川モデルの取組が軌道に乗り、各学校が合同学校評議員会で小中一貫教育の具体的な取組内容やその成果を発信した成果であると考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項05 特別支援教育の充実

指標①	要支援児童・生徒に対する特別支援教育支援員の配置率	単位	基準値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	38.8	36.5	34.0	50.0	(横ばい)
評価	(状況) 要支援児童・生徒に対する特別支援教育支援員の配置率は34.0%で、総合計画基準値(H28)と比較し4.8ポイント減少しています。 (原因) 特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあります。が、特別支援教育支援員の希望者が減少していることが原因です。						目標達成度
							(低)

基本事項05 特別支援教育の充実

指標②	個別の指導計画、支援計画に基づいて学んでいる児童・生徒の割合	単位	基準値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	%	83.8	88.6	92.2	100.0	(向上)
評価	(状況) 個別の指導計画、支援計画に基づいて学んでいる児童・生徒の割合は92.2%で、総合計画基準値(H28)と比較し8.4ポイント増加しており、順調です。 (原因) 個別に支援を必要とする児童・生徒が年々増加している中で、特別支援コーディネーターを対象に、個別の指導計画、支援計画の作成の仕方について研修会を実施していることが大きな要因です。						目標達成度
							(中)

基本事項06 教育環境の計画的整備の推進

指標①	改修等により安全で適正な学校施設になった延べ件数(計画期間累計)	単位	基準値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	目標値(R04)	指標のうごき
	【教育総務課】	件	年10	19	21	50	(横ばい)
評価	(状況) 改修等により安全で適正な学校施設になった延べ件数は21件です。改築等により、学校施設的环境は改善されていますが、建築から年数を経過している施設も多く、修繕や改修が必要となっています。 (原因) 児童生徒の生活環境を改善するためのトイレの改修や安全確保のための耐震補強など、多くの改修工事を行うことができたためです。						目標達成度
							(低)

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 確かな学力の育成
- 基本事項 02 心の教育の推進
- 基本事項 03 健康増進と体力向上の推進
- 基本事項 04 開かれた学校づくりの推進
- 基本事項 05 特別支援教育の充実
- 基本事項 06 教育環境の計画的整備の推進

基本事項06 教育環境の計画的整備の推進

指標②	施設管理上の不具合における教育支障件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【教育総務課】	件	0	0	0	0
評価	<p>(状況) 施設管理上の不具合における教育支障件数は0件で、保守、維持管理と改修により安全な教育環境は保たれていますが、建築から年数を経過している施設も多く、また、狭隘な体育館などもあります。</p> <p>(原因) 毎年各学校を訪問し、実施している営繕調査や学校からの要望、破損の報告について、緊急度や重要度を判断し、修繕を行うとともに、改修工事を計画的に行ったことにより、成果につながっています。</p>	(件)					☀ (向上)
							目標 達成度
							🏰 (達成)

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 03 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	生涯にわたり、様々な機会や場所で学習を行い、その成果を豊かな生活や地域社会に生かしています。

施策の成果状況と評価

指標①	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【生涯学習スポーツ課】	%	25.2	-	24.4	→
評価	(状況) 生涯学習に取り組んでいる市民の割合は24.4%で、総合計画基準値 (H28) と比較しほぼ横ばいの状況です。 (原因) 市が実施する講座等では、65歳以上の参加者が多く、若年層や中年層が生涯学習に取り組む割合が依然として低い傾向があります。						目標達成度
							■ (低)

指標②	生涯学習の成果を地域や社会、家庭に生かしている市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【生涯学習スポーツ課】	%	16.9	-	15.4	→
評価	(状況) 生涯学習の成果を地域や社会、家庭に生かしている市民の割合は15.4%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.5ポイント減少しました。 (原因) 生涯学習に参加する年代構成に変化がないため、生涯学習に取り組んでいる市民の割合が微減であることから、同様の傾向となったと考えられます。						目標達成度
							■ (低)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な学習や活動機会の充実
基本事項 02 家庭教育の向上と青少年健全育成
基本事項 03 学校教育と社会教育の連携・融合
基本事項 04 公民館機能の充実
基本事項 05 生涯学習施設環境の充実

基本事項01 多様な学習や活動機会の充実

指標①	生涯学習機会に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	78.7	-	81.4	➔	☀ (向上)
評価	(状況) 生涯学習機会に満足している市民の割合は81.4%で、総合計画基準値 (H28) と比較し2.7ポイント増加しました。 (原因) 長年にわたる生涯学習への取組が多く、市民に理解されており、「学ぶ」ことへの意識の醸成が図られていることが原因と考えられます。						目標達成度
							■ (低)

基本事項01 多様な学習や活動機会の充実

指標②	生涯学習の活動機会に関する情報提供の満足度	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	73.5	-	76.6	➔	☀ (向上)
評価	(状況) 生涯学習の活動機会に関する情報提供の満足度は76.6%で、総合計画基準値 (H28) と比較し3.1ポイント増加しました。 (原因) ホームページやSNS、ウルトラFMを活用した情報発信が、市民に浸透してきたことが主な原因と考えられます。						目標達成度
							■ (低)

基本事項02 家庭教育の向上と青少年健全育成

指標①	基本的な生活習慣が身に付いている児童割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	73.2	78.9	81.8	80.0	☀ (向上)
評価	(状況) 基本的な生活習慣が身に付いている児童割合は81.8%で、総合計画基準値 (H28) と比較し8.6ポイント増加し、目標値を達成しています。 (原因) 各家庭において、基本的な生活習慣を身につけさせるための手だて等が実践されていることや、各小学校で行われている家庭教育等の講座が充実していることが要因と考えられます。						目標達成度
							🏰 (達成)

基本事項02 家庭教育の向上と青少年健全育成

指標②	基本的な生活習慣が身に付いている生徒割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	80.2	79.4	81.2	85.0	☀ (向上)
評価	(状況) 基本的な生活習慣が身に付いている生徒割合は81.2%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.0ポイント増加しており、順調です。 (原因) 各家庭において、基本的な生活習慣を身につけさせるための手だてがしっかり定着しており、実践されているものと考えられます。また、各中学校で行われている家庭教育学級等の講座関係が充実しており、基本的な生活習慣の定着が図られていることも要因と考えられます。						目標達成度
							■ (低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な学習や活動機会の充実
基本事項 02	家庭教育の向上と青少年健全育成
基本事項 03	学校教育と社会教育の連携・融合
基本事項 04	公民館機能の充実
基本事項 05	生涯学習施設環境の充実

基本事項03 学校教育と社会教育の連携・融合

指標①	学社連携・融合事業実施件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	件	12	13	13	15	(横ばい)
評価	(状況) 学社連携・融合事業実施件数は13件で、総合計画基準値 (H28) と比較しほぼ横ばいの状況です。 (原因) 地区ごとの連携・協力が深まるよう、公民館や学校が主体となって働きかけてきた成果によるところが大きいものと考えます。						目標達成度
							■ ■ ■ (低)

基本事項03 学校教育と社会教育の連携・融合

指標②	学校支援ボランティアとして活動した延べ回数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	回	4,420	4,395	8,171	4,500	(向上)
評価	(状況) 学校支援ボランティアとして活動した延べ回数は8,171回で、総合計画基準値 (H28) と比較し3,751回増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 子どもの登下校に関する見守りや、特設活動に関する指導・支援が大幅な増加につながりました。また、多様な学校教育活動において、積極的にボランティアを活用し、学校と地域の連携、協働を図ったことも主な原因と考えられます。						目標達成度
							■ (達成)

基本事項04 公民館機能の充実

指標①	公民館を利用している市民の割合 (度合い)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	143.1	130.4	131.2	144.5	(低下)
評価	(状況) 公民館を利用している市民の割合は131.2%で、総合計画基準値 (H28) と比較し11.9ポイント減少しています。 (原因) 高齢者教育推進事業の受講生は増加している一方で、青少年教育、家庭教育などの若い年齢層の受講者数が減少傾向にあることが、主な原因と考えられます。						目標達成度
							■ ■ ■ (低)

基本事項04 公民館機能の充実

指標②	各公民館で実施した事業に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	79.5	92.7	95.4	90.0	(向上)
評価	(状況) 各公民館で実施した事業に満足している市民の割合は95.4%で、総合計画基準値 (H28) と比較し15.9ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 各公民館において講座ごとにアンケートを実施しており、参加者からの意見を踏まえながら、事業の検証、改善に努めた成果が満足度の向上に表れているものと考えられます。						目標達成度
							■ (達成)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な学習や活動機会の充実
基本事項 02	家庭教育の向上と青少年健全育成
基本事項 03	学校教育と社会教育の連携・融合
基本事項 04	公民館機能の充実
基本事項 05	生涯学習施設環境の充実

基本事項04 公民館機能の充実

指標③	この1年間で公民館を利用したことがある市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	37.4	-	35.1	→	☂ (低下)
評価	(状況) この1年間で公民館を利用したことがある市民の割合は35.1%で、総合計画基準値 (H28) と比較し2.3ポイント減少しました。 (原因) 新庁舎完成に伴い、公民館を会場とした会議等の開催が減少したことや、青少年や青年層の施設利用の減少が主な原因と考えられます。						目標達成度
							■ ■ (低)

基本事項05 生涯学習施設環境の充実

指標①	生涯学習施設（公民館・図書館等）の充足度に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	73.3	-	86.2	→	☀ (向上)
評価	(状況) 生涯学習施設（公民館・図書館等）の充足度に満足している市民の割合は86.2%で、総合計画基準値 (H28) と比較し12.9ポイント増加しました。 (原因) 市民交流センターの開館に伴い、中央図書館がリニューアルされるなど、利用者の利便性が向上したことが原因と考えられます。						目標達成度
							■ ■ (中)

基本事項05 生涯学習施設環境の充実

指標②	生涯学習施設の事故・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	件	1	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 生涯学習施設の事故・トラブル件数は0件です。 (原因) 利用者が安全・安心に利用できるよう常に施設の適切な維持管理、運営に努めていることが無事故等につながっています。						目標達成度
							🏰 (達成)

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 04 生涯スポーツの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	いつでもどこでも気軽にスポーツ活動に親しみ取り組んでいます。

施策の成果状況と評価

指標①	スポーツに親しんでいる市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【生涯学習スポーツ課】	%	56.6	-	56.2	→
評価	(状況) スポーツに親しんでいる市民の割合は56.2%で、総合計画基準値 (H28) と比較し横ばいの状況です。 (原因) 市民のニーズに応じた各種スポーツ大会や教室の開催、インターネット等を活用した施設利用や活動の情報提供等を行ってきたことが原因と考えられます。						(横ばい)
							目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 スポーツ活動の推進

基本事項 02 スポーツ施設環境の充実

基本事項01 スポーツ活動の推進

指標①	スポーツ大会・教室の参加者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	人	38,598	36,875	34,579	41,800	(横ばい)
評価	(状況) スポーツ大会・教室の参加者数は34,579人で、総合計画基準値 (H28) と比較し4,019人減少しました。 (原因) 市民体育祭や円谷幸吉メモリアルマラソン大会等の大きな大会の参加者数は横ばいでしたが、西袋地区など3地区の体育祭が雨天中止となったことが要因と考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項01 スポーツ活動の推進

指標②	スポーツやレクリエーションに参加する機会が充実していると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	77.0	-	81.2	→	(向上)
評価	(状況) スポーツやレクリエーションに参加する機会が充実していると思う市民の割合は81.2%で、総合計画基準値 (H28) と比較し4.2ポイント増加しました。 (原因) スポーツ大会が定着してきたことや、市民ニーズに応じた教室を開催するなど、生涯スポーツ活動を推進してきたことが要因と考えられます。						目標達成度
							(中)

基本事項02 スポーツ施設環境の充実

指標①	スポーツ施設の年間利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	人	554,897	503,456	526,436	601,500	(横ばい)
評価	(状況) スポーツ施設の年間利用者数は526,436人で、総合計画基準値 (H28) と比較し28,461人減少しました。 (原因) 屋外施設が天候不順により利用できなかったことや、須賀川アリーナのスポーツ以外の利用が大幅に減少したためです。						目標達成度
							(低)

基本事項02 スポーツ施設環境の充実

指標②	スポーツ施設維持管理上の事故・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【生涯学習スポーツ課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) スポーツ施設維持管理上の事故・トラブル件数は0件でした。 (原因) 計画的な修繕を行うなど、適切な維持管理に努めたためです。						目標達成度
							(達成)

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 05 文化芸術の振興と継承

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	文化芸術を通じ、地元への愛着や誇りが育まれています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	ふるさと須賀川の文化や歴史に誇りや愛着を感じている市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【文化振興課】	%	69.9	-	67.7	→
評価	<p>(状況) ふるさと須賀川の文化や歴史に誇りや愛着を感じている市民の割合は67.7%で、総合計画基準値(H28)と比較し2.2ポイント減少しましたが、市民アンケートの指標であるため統計誤差の範囲であり、横ばい状態です。</p> <p>(原因) アンケートの結果では、「文化財を守ることに」、「文化芸術を鑑賞する機会について」、「特撮文化について」及び「文化財への親しみについて」の各項目においてそれぞれ前回調査と比べ向上傾向にあり、歴史や文化への関心は向上傾向にあるものの、誇りや愛着を感じる割合については、横ばい傾向にあるものと推測されます。</p>						目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進
基本事項 02	特撮文化拠点都市の構築・発信
基本事項 03	文化芸能の継承
基本事項 04	文化財の保護と活用の推進
基本事項 05	ふるさと学習の推進

基本事項01 文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進

指標①	文化芸術鑑賞の機会に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	%	70.8	-	76.2	➔	☀️ (向上)
評価	(状況) 文化芸術鑑賞の機会に満足している市民の割合は76.2%で、総合計画基準値 (H28) と比較し5.4ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 博物館及び文化センターの入場者数は54,467人で、平成28年度の63,262人と比べると8,795人減少していますが、施設利用件数は106件で平成28年度の68件に比べ38件増加しており、文化芸術鑑賞の機会が増加していることが要因と考えられます。						☀️ (向上)
							☀️ (達成)

基本事項01 文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進

指標②	文化芸術を鑑賞できる施設 (文化センター、博物館) の入場者数合計	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	人	63,262	62,056	54,467	67,000	☔️ (低下)
評価	(状況) 文化芸術を鑑賞できる施設 (文化センター、博物館) の入場者数合計は54,467人で、総合計画基準値 (H28) と比較し8,795人減少し、停滞しています。 (原因) 施設利用件数は106件で、平成28年度の68件に比べ38件増加しましたが、事業の多くが小・中規模であったためです。						☔️ (低下)
							☔️ (低)

基本事項02 特撮文化拠点都市の構築・発信

指標①	特撮文化が須賀川市の特長だと思える市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	%	84.2	-	87.5	➔	☀️ (向上)
評価	(状況) 特撮文化が須賀川市の特長だと思える市民の割合は87.5%で、総合計画基準値 (H28) と比較し3.3ポイント増加しています。 (原因) ウルトラマン関連事業はもとより、円谷英二ミュージアムの開館などによって、特撮文化が市民にとって、より身近になったためと推測されます。						☀️ (向上)
							☀️ (中)

基本事項03 文化芸能の継承

指標①	文化芸能の活動をしている団体に所属している市民数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	人	4,779	4,322	3,982	5,000	☔️ (低下)
評価	(状況) 文化芸能の活動をしている団体に所属している市民数は3,982人で、総合計画基準値 (H28) と比較し797人減少しています。 (原因) 文化芸能団体数は184団体で、平成28年度の197団体から13団体減少しており、各団体の会員数も、会員の高齢化などにより減少している一方で、新規会員が少ないためと推測されます。						☔️ (低下)
							☔️ (低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進
基本事項 02	特撮文化拠点都市の構築・発信
基本事項 03	文化芸能の継承
基本事項 04	文化財の保護と活用の推進
基本事項 05	ふるさと学習の推進

基本事項04 文化財の保護と活用の推進

指標①	文化財に親しみを感じている市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	%	70.8	-	74.2	→	(横ばい)
評価	(状況) 文化財に親しみを感じている市民の割合は74.2%で、総合計画基準値 (H28) と比較し3.4ポイント増加しています。 (原因) 講演会、史跡巡り、特別展等の開催によって、文化財に対する親しみが醸成されてきていると考えられます。						目標達成度
							■ (高)

基本事項04 文化財の保護と活用の推進

指標②	指定文化財数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	件	104	116	116	114	(向上)
評価	(状況) 公開・活用された指定文化財数は116件で、総合計画基準値 (H28) と比較し12件増加し、目標値を達成しています。指定文化財の公開・活用は順調に図られています。 (原因) 新たに指定された文化財があったことや、特別展等により積極的に公開・活用されたためと考えられます。						目標達成度
							🏰 (達成)

基本事項05 ふるさと学習の推進

指標①	郷土の歴史学習を行っている小・中学校の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	%	100.0	100.0	100.0	100.0	(向上)
評価	(状況) 郷土の歴史学習を行っている小・中学校の割合は100.0%で、目標値を達成しています。 (原因) 市内全小中学校において、副読本を活用した歴史学習が実施されており、ふるさと学習が順調に進められているためです。						目標達成度
							🏰 (達成)